



1位 ミスカンナほか



2位 パイナップルリリー



3位 サバンナ温室前



トピックス エゴノキとエゴノネコアシアブラムシ

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

みごろの植物

第1009号 2024年7月11日 次号予定8/2

今週のベスト3！

青い札が目印です

1位 ミスカンナやミズアオイの仲間など、水辺で涼しげな花が咲いています。**大賀ハス**の大きな花も咲きました(7/8)。見れたらラッキー！

2位 パイナップルリリー パイナップルのようなつぼみが開き、クリーム色の花が下から咲き進んでいます。迫力ある姿です。

3位 サバンナ温室前をロシアンセイジ、ラベンダー、ガウラなどが彩っています。香りの植物コーナーではセイヨウニンジンボクの薄紫の花やフェネルの青々とした葉がさわやかです。



じゅもーく先生トピックス

★ エゴノキとエゴノネコアシアブラムシ
Styrax japonica エゴノキ科

初夏はエゴノキの果実が青く実る頃。けれどよく見ると、楕円形の果実の他に、小さなバナナの房のようなものがぶら下がっていることがあります。これはなんと、エゴノネコアシアブラムシという昆虫のすみか、「虫こぶ(ゴール)」なのです。これは社会性のアブラムシの仲間で、たった1匹の「幹母」と呼ばれる雌が、エゴノキの新芽に虫こぶを作らせます。幹母は、次第に成長する虫こぶの空間の中でたくさんの子供を産みます。最新の研究から、虫こぶの内側の壁は水分を吸収する性質があり、完全に閉じた虫こぶの中にギッシリすんでいるアブラムシの「おしっこ」は、全て壁から吸収されるため、虫こぶの中は常に快適に保たれることが知られています。

筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 奥山雄大

レンゲショウマの花が咲き始めました。まるいつぼみもかわいいです！



① ムクゲ 白く透けるような花が清々しいです。

② キョウチクトウ ピンク色の花が咲き始めました。(有毒です)

③ シカクヒマワリ 大きなつぼみがぐんぐん伸びています。

④ キンカン 白く優しげな花が葉の隙間から見えかくれます。さわやかな香りもします。

⑤ ジュズダマ 今なら花と実がごろんになれます。

⑥ ミクリ[NT] トゲトゲの青い果実がいっぱいできています。花もまだ少し残っています。

⑦ ウラハグサ 立ち上がってきた花穂は、光があたるとキラキラ、風にゆらゆら。

⑧ ダイセツヒナオトギリ[VU] 猛暑の中、健気に咲く高山の花々。近くでモイワシヤジンもつぼみをつけています。

⑨ カリガネソウ 濃い紫で流線形の美しい花を咲かせています。

⑩ ビツチュウフウロ ピンク色のかわいい花が咲き始めました。

⑪ キンミズヒキ 黄色い花の穂が優雅です。

⑫ キレンゲショウマ[VU] 黄色い花が咲き始めました！

⑬ ヤブミョウガ 背の高い茎に白い花が目立ちます。



夏休み植物園フェスタ

7/20(土)~7/28(日)

アンケートにご協力ください



見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。筑波実験植物園では、科の表示を「新エングラ体系」から「APG体系」へ変更しています。筑波実験植物園ホームページ <https://www.tbg.kahaku.go.jp/>

